



■ キャッチフレーズ

魅力・活力・地域力・緑区から発信！

■ 局・区の運営の責任者

緑区長 高部 博

■ 局・区の役割・目標

1. 区制を生かし、地域の個性や特徴を活かしたまちづくりを進めるとともに、区の魅力発信と区民交流に努めます。

区民主体によるまちづくり体制の確立や、区の個性や特徴を活かしたまちづくりに取り組みます。また、区の魅力発信と区民交流の促進に努めます。

2. 協働の実践により、区民の活力が活かせる仕組みづくりに努めます。

区民の創意と工夫があふれる個性豊かな社会の実現をめざし、自治会などの活動の活発化やそのための活動拠点の確保を図るとともに、地域活性化事業交付金などを活用し、地域住民の課題解決に向けた仕組みづくりに努めます。

3. 防災、防犯活動等の充実により、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます。

誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現をめざし、区民や地域団体等との連携を図りながら、防災体制の充実、交通安全・防犯対策の充実に取り組みます。

4. 区民ニーズや地域の課題を的確に把握し、区政や市政に反映させ、施策の総合化を図り、区民満足度の向上に努めます。

区民満足度の向上をめざし、まちづくり会議や地区まちづくり懇談会などの機会を捉え、区民ニーズを把握し、区行政連絡調整会議などを通じて施策への反映に努めます。

■ 局・区経営の視点・方針

- 区民と行政とのパートナーシップによるまちづくりをより一層推進するため、関係機関・団体との連携を強化するとともに、協働の輪を広げる取組を進めます。
- 区民ニーズの的確な把握に努めるとともに、地域の個性や特徴を活かした区民が主役のまちづくりを進めます。
- 窓口業務における市民満足度を高めるため、「正確・迅速・親切」なサービスを提供します。
- 公務員に対する市民の信頼に応えるため、公務員倫理と服務規律を遵守します。

■ 現状と課題

	現 状	課 題
1	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議やまちづくり会議などの仕組みを活用し、区の個性や特徴を活かしたまちづくりについて、区民とともに推進することが求められている。 ・区内各地域の公共的な活動を支えている団体等を活性化するための新たな支援策が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民とまちづくりについて協議できる場として、区民会議及びまちづくり会議の活用が必要である。 ・地域課題の解決に取り組むため、地域政策担当、地域活力推進員の一層の資質の向上が必要である。 ・まちづくりに関わる新たな担い手の発掘、育成が必要である。 ・地域活動等の情報提供機能の強化が必要である。

2	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率が低下傾向にある。 自治会未結成地区がある。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【緑区の自治会加入率の推移】（4月1日現在） （単位：％）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20.4</th> <th>H21.4</th> <th>H22.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>63.50</td> <td>62.25</td> <td>61.35</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区制前の橋本、大沢、城山、津久井、相模湖、藤野地区における加入率</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 地域団体の役員の高齢化、自治会加入率の低下による地域コミュニティの活力低下が懸念される。 都市化の進展やライフスタイルの多様化などにより、地域の連帯感が薄れている。 		H20.4	H21.4	H22.4		63.50	62.25	61.35	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で自治会未結成地区への組織化を働きかけるとともに、一人でも多くの市民に、自治会活動に対する理解や自治会への積極的な加入促進を図る必要がある。 地域活動の促進を図り、自治会等とともに地域づくりに取り組む必要がある。 地域コミュニティの活動拠点の確保を図る必要がある。 						
	H20.4	H21.4	H22.4													
	63.50	62.25	61.35													
3	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ意識の希薄化等による、犯罪に対する抑止力が低下している。 刑法犯罪のうち自転車盗、オートバイ盗の割合が多い。 青色回転灯装備車両などを活用して区民の防犯活動が行われている。 環境に配慮した防犯灯(LED)の設置や防犯効果をより高める観点から高照度型防犯灯の設置を促進している。 防犯灯の新設などの市民ニーズが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体や関係機関と連携し、区民の交通安全・防犯に関し、更なる普及啓発を進めるとともに、活動を支援し活性化を図る必要がある。 犯罪を抑止する取組について、警察等と連携し、推進していく必要がある。 青色回転灯装備車両の自治会等への活用促進を図るとともに、防犯対策などの安全・安心メールの普及促進が必要である。 防犯灯の設置・更新等に対する地域ニーズへの対応を図るとともに、環境に配慮したLED防犯灯などの設置を促進する必要がある。 														
4	<ul style="list-style-type: none"> 緑区においては、自転車に関する交通事故の割合が高い。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【緑区内の自転車事故件数等】（年中）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通事故全体に対する自転車事故の割合</td> <td>緑区内</td> <td>24.7%</td> <td>28.4%</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>県内</td> <td>23.6%</td> <td>24.0%</td> <td>23.8%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> 緑区における交通事故は微減傾向にあるが、高齢者の交通事故のうち、横断歩道がない箇所を横断することによる事故の割合が高い。 			H20	H21	H22	交通事故全体に対する自転車事故の割合	緑区内	24.7%	28.4%	28.6%	県内	23.6%	24.0%	23.8%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までの各世代に応じた、交通安全に対する意識啓発を行う必要がある。 緑区以外のドライバー等への交通安全マナーの啓発等の実施が必要である。 歩道設置や道路改良などの地域からのニーズを道路管理者に的確に伝えることが必要である。
		H20	H21	H22												
交通事故全体に対する自転車事故の割合	緑区内	24.7%	28.4%	28.6%												
	県内	23.6%	24.0%	23.8%												
5	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の発生を踏まえ、災害時対応の更なる強化が求められている。 緑区においては、山間部が多く、地震・風水害による土砂災害が想定される。また、人家5戸以上が存在する急傾斜地崩壊危険区域箇所が33箇所ある。 緑区内の浸水想定区域が、都市部の境川流域で9区域、相模川流域で4区域、串川流域で10区域とされている。 旧4町区域159自治会の内、約29%の46自治会が避難困難区域とされている。 地区自治会連合会単位の自主防災組織の組織化が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民と行政が一体となって、災害時要援護者対策の充実を図る必要がある。 市民は、平時から一定以上の災害に対する備えを行う必要がある。 山間部の孤立化対策を推進するなど、緑区の地域の特徴に応じた災害対応体制を構築する必要がある。 遅れている地区自治会連合会単位の自主防災組織の立上げと避難所運営協議会の活動の支援を図る。 浸水被害の解消など、防災上の地域情報・課題を収集し、市担当課に働きかける必要がある。 														
6	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所での利便性の高い窓口サービスの提供が求められている。 区役所のあり方について検討が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに対応した行政サービスの拡充が必要である。 窓口サービス専門員や窓口職員に対する職員研修の充実などを行う必要がある。 まちづくりセンターと本庁出先機関とのあり方など区役所業務範囲について検討を進める必要がある。 														

■ 重点目標(H22評価とH23目標)

【○:H22単年度目標、◎:H22・23継続目標、新:H23新規目標】

	事務事業名		平成22年度		平成23年度 指標・目標	
	事務事業の概要	指標・目標	実績・評価等			
1. 区制を生かし、地域の個性や特徴を活かしたまちづくりを進めるとともに、区の魅力発信と区民交流に努めます。						
1-1	◎	区民会議運営事業	区ビジョンの策定	実績	・平成22年7月30日第1回開催、全6回実施 ・区内視察及び区ビジョン策定に向けた現状・特色・課題等の抽出	・緑区区ビジョンの答申 ・区民に対する協議結果の情報提供の推進
		・区の課題やまちづくりの方向性について協議する場として設置された区民会議の円滑な運営と活性化を図り、地域特性を生かした区民主体によるまちづくりを推進します。		評価	・現状や課題等の抽出を行い、共通認識が図られた。	
1-2	◎	まちづくり会議支援事業	地域課題の解決に向けた自主的な取組に対する支援	実績	・6地区で計35回の会議を開催 ・地域課題の抽出及び解決に向けた取り組み。	・地域課題の解決に向けた自主的な活動各地区1事業の展開
		・地域の課題を自主的に話し合い、その解決に向けた活動に協働で取り組むため、まちづくり会議の運営を支援します。		評価	・住民自らが地域課題の解決に向けた取り組みが進められている。	
1-3	◎	地域政策担当による地域課題の把握	・まちづくり会議の支援 ・地域課題の把握	実績	・区内に11名の地域政策担当を配置し、まちづくり会議や地域団体の活動と関わる中で、地域課題の把握や情報交換を行った。	・情報交換、情報収集による地域課題の把握
		・情報交換、情報収集による地域課題の把握 ・地域活動の充実強化及び地域活性化にかかわる事業展開などを企画・支援します。		評価	・地域課題の把握に努めているが、現地に出向くなど、さらに情報収集を行うとともに地域活性化に向けた取り組みを支援していく。	
1-4	◎	地域活動促進事業	地域活性化を図るため、区民が自主的に取り組む事業を支援	実績	・交付件数:56件	・交付金制度の周知 ・活用事例の報告会開催 ・地域課題の中から、優先的に取り組む事項の検討
		・より多くの市民の参加と協働による地域の活性化を図るため、「地域活性化事業交付金」を交付し、各地区で展開される市民による自主的・公共的な活動を支援します。		評価	・地域課題に合致した事業を見極め、地域活性化に向けた自主的な取り組みを支援していく。	
1-5	◎	区の魅力づくり事業	区としての一体感の醸成	実績	・おまつりスタンプラリーの実施 ・ショートフィルムフェスティバルの実施 ・中学生ボランティア(CMづくり隊)による緑区のCM制作 ・全国緑区フォーラムへの参加 ・さがみはらフェスタへの緑区役所ブース出展 ・緑区ガイドマップ作成(20,000部) ・緑区シンボルマーク・カラーの募集 ・がんばるフォーラムの開催	・区民交流事業、魅力再発見事業、魅力発信事業、広域連携事業の実施
		・区民どうしの一体感をはぐくみながら、区への愛着や誇りなどの意識の醸成を図るため、区独自の魅力を再発見し、新たな魅力として区内外に情報発信するなど、「区の魅力づくり」に向けた事業を実施します。		評価	・区民の一体感の醸成を図るきっかけとなる取り組みとなった。情報発信が一過性なものにならないような取り組み方法等の検討が必要。	
1-6	◎	広報事業	地域情報の提供	実績	・区版広報・区のホームページの充実 ・地域で活躍する人物を紹介するコーナーの設置 ・ホームページや地域情報紙を活用したイベント情報などの発信	・区版広報・区のホームページの充実 ・地域側から情報の提供・発信ができる仕組みづくりの検討
		・区版広報紙をはじめ、区ホームページ、テレビ・ラジオなどの多様な媒体を活用した情報発信力の強化を図り、市民への迅速かつ効果的な情報提供を進めます。		評価	・区民意識や一体感の醸成、地域の活性化を図ることができた。	

2. 協働の実践により、区民の活力が生かせる仕組みづくりに努めます。						
2-1	◎	相模原市自治会連合会との協働による自治会活動の活性化	自治会活動の活性化に対する取組	実績	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入促進キャンペーンの実施、加入促進パンフレットの作成 自治会集会所建設費等補助:2件 自治会集会所賃借料補助:1件 自治会集会所融資:1件 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入促進策の推進 コミュニティ活動の場の確保をするため助成を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動の活性化及び自治会加入促進策の推進 コミュニティ活動の場の確保 		評価		
3. 防災、防犯活動等の充実により、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます。						
3-1	◎	地域防災力支援事業	区内全てに地区連合自主防災隊及び避難所運営協議会の設置	実績	<ul style="list-style-type: none"> 地区自治会連合会単位の自主防災組織(相模湖、城山)の設立 避難所運営協議会(青根)の設立および活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 津久井・藤野地区での地区連合自主防災組織立ち上げに向けた支援及び区内避難所運営協議会の活動支援
		地域における防災力の向上を図り大規模災害へ備えるとともに、自主防災組織が災害時に主体的に活動できるよう支援を行います。		評価		
3-2	◎	交通事故及び犯罪被害の防止	交通事故、犯罪被害の防止に向けた取組	実績	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全キャンペーン・防犯パトロールの実施 交通事故(対前年:△1.4%) 犯罪認知件数(対前年:△10.1%) 	<ul style="list-style-type: none"> 警察・関係団体・地域団体との連携強化 市民への啓発活動の充実 環境に配慮したLED防犯灯などの設置促進
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもや高齢者などに対する交通安全教育などの啓発活動の充実を図るとともに、地域における交通安全活動団体への支援を進めます。 警察・関係団体・地域団体との連携を図り、犯罪に関する情報の共有や自主防犯組織によるパトロール活動・暴力追放運動の推進により、市民の防犯意識や暴力追放意識を高めます。 また、防犯灯の整備など、地域における防犯活動に対する支援を進めます。 		評価		
4. 区民ニーズや地域の課題を的確に把握し、区政や市政に反映させ、施策の総合化を図り、区民満足度の向上に努めます。						
4-1	新	青野原出張所の再整備	-	実績	-	施設の整備・開所
		行政サービスの向上を図るため、施設の老朽化が進む青野原出張所を青野原小・中学校地内に移設します。		評価		
4-2	◎	窓口業務のサービス向上	区民課窓口の土曜日開庁	実績	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第2・第4土曜日の区民課窓口を開庁 窓口サービス専門員の資質向上のため研修等を実施 	土曜日開庁とサービスの向上
		<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスの向上を図るため、毎月第2・第4土曜日に区民課の窓口を開庁します。 窓口サービス専門員の資質向上 		評価		
4-3	◎	証明書自動交付機の利用促進	さがみはらカードの普及	実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年2月「アリオ橋本」に自動交付機を設置 自動交付機による発行は全体の約35.7%、うち時間外夜間の発行約38.3%。 	さがみはらカードの普及
		<ul style="list-style-type: none"> 休日や夜間に、自動交付機により住民票や印鑑証明書等を交付します。 		評価		
4-4	◎	町田市との広域証明発行サービス	広域証明発行サービスの利用拡大	実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度(4月～3月分)相模原市窓口交付請求:971件 町田市窓口交付請求:1,409件 総計2,380件(うち相模原市民利用1,203人(66.9%)) 	<ul style="list-style-type: none"> 広域証明発行サービスの利用拡大を図るための周知
		<ul style="list-style-type: none"> 広域証明発行サービスの利用拡大を図るための周知 行政サービスの向上を図るため、町田市内の行政窓口で、本市の住民票の写しなどの交付が受けられるサービスを実施します。 		評価		

■ 本年度の主な事業(取組)

【新:H23新規目標】

主な取り組み		部名/課名	内容	事業費(千円)
1. 区制を生かし、地域の個性や特徴を活かしたまちづくりを進めるとともに、区の魅力発信と区民交流に努めます。				
1-1	区民会議の運営	地域政策課	区のまちづくりについて話し合う「区民会議」運営のための経費	4,272
1-2	まちづくり会議の運営	地域政策課 各まちづくりセンター	各地域の地域力を高めるため、「まちづくり会議」の運営を支援する経費	1,258
1-3	地域政策担当の配置	地域政策課 各まちづくりセンター	地域の公益的活動の支援や区内の政策形成を行う体制を構築	-
1-4	地域活性化事業交付金	地域政策課 各まちづくりセンター	地域課題解決のため区民が自主的に取り組む事業に交付する交付金(区内6地区分)	18,000
1-5	区の魅力づくり事業	地域政策課	緑区シンボルマーク・カラーの制定・普及、ショートフィルムフェスティバルの開催、区のCM制作、区のイメージキャラクターの制作など	6,628
1-6	道志川合唱祭	津久井まちづくりセンター	青根道志川沿いで開催する野外での合唱祭に向けた実行委員会への補助(今年度20回記念事業) 開催日 9月25日(日)	2,800
1-7	藤野ふるさと芸術村メッセージ事業	藤野まちづくりセンター	森と湖の環境の中で、芸術家の活動、育成及び地域住民との交流により文化芸術空間を創造することを目的とするイベント等への支援	3,200
1-8	区版広報の発行・区のホームページの作成	総務課	各地域のイベント開催等の情報提供	-
2. 協働の実践により、区民の活力が生かせる仕組みづくりに努めます。				
2-1	自治会活動の推進	地域政策課 各まちづくりセンター	交通安全、防犯、防災、環境などの活動を行う自治会への支援	-
2-2	自治会集会所建設費等補助	津久井まちづくりセンター	音久和自治会、中村自治会、稲生自治会集会所建設費等の補助	2,334
3. 防災、防犯活動等の充実により、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めます。				
3-1	防犯灯維持管理費補助金	地域政策課	自治会管理の防犯灯の電気料及び管理費の補助	49,615
3-2	防犯灯設置費補助金	地域政策課	自治会設置の防犯灯の設置及び撤去・移設費の補助、省エネ型防犯等の設置促進	18,832
3-3	安全・安心パトロールの実施	地域政策課 各まちづくりセンター	各種団体・警察・学校合同の交通安全・防犯活動	-
3-4	地区連合自主防災組織の立ち上げ	各まちづくりセンター	津久井、藤野地区の地区連合自主防災組織の立ち上げに向けた支援	-
3-5	避難所運営協議会議の活動支援	総務課 各まちづくりセンター	避難所運営訓練への支援 避難所運営用資機材の整備	396

4. 区民ニーズや地域の課題を的確に把握し、区政や市政に反映させ、施策の総合化を図り、区民満足度の向上に努めます。

4-1	青野原出張所の再整備	津久井まちづくりセンター	青野原小・中学校地内への移設	44,100
4-2	窓口業務の土曜日開庁	区民課	第2・第4土曜日の午前中に窓口開庁を実施	-
4-3	証明書自動交付機の利用促進	区民課・各まちづくりセンター	さがみはらカード普及促進 休日や夜間に、自動交付機により住民票や印鑑証明書等を交付	-
4-4	市民相談事業	総務課	区役所で実施する市民相談、法律相談、その他行政相談など	47